

柿の木プロジェクト関連ワークショップ

# Piece of Peace

小さなタイルに願いをのせて



近い、遠い未来。自分の未来、大切な人の未来。

あなたはどんな未来を思い描くでしょうか？

心の中で自分に問いかけながら、小さなタイルをつくりましょう。

一枚は手元で大事に持っておくためのもの。もう一枚は、平和への

想いととも美術館へ植樹された、柿の木の根元に飾ります。もしかしたら、

一人一人の願いはささやかで、小さなものかもしれませんが、でも、それが集まり

つながっていったなら。いつか、みんなの願う世界へと続いていくのではないのでしょうか。

3/10日 & 5/12日

開催日 3/10(日)、5/12(日) \* 5/12はタイルの設置  
時間 13:30~15:30  
会場 5F ワークショップルーム  
対象 小学生~大人の2人1組(ペア参加必須)  
\* 3月と5月両日とも参加可能な方  
定員 10組(20名)  
参加費 1500円(/組)  
申込締切 2/28(水)  
講師 羽山加奈子(陶芸家)

▼お申込先



時の蘇生・柿の木プロジェクト



「時の蘇生・柿の木プロジェクト」は、現代美術作家・宮島達男が作品制作のリサーチのために長崎を訪れ、樹木医の海老沼正幸との出会いをきっかけに、1996年から開始されたプロジェクトです。「被爆柿の木二世」の苗木を世界中に植樹し、育てることを通して、子ども達と一緒に「平和」、「命の大切さ」、「人間の生き方」について考える機会となることを目指しています。これまで世界26ヶ国、320ヶ所以上に植樹が行われ、国内では幼稚園や小・中学校、公園、美術館など、さまざまな場所で実施されてきました。

千葉市美術館では、拡張リニューアルオープン・開館25周年記念の企画展として開催した「宮島達男 クロニクル 1995-2020」にあわせて「時の蘇生・柿の木プロジェクト」を始動、2022年には柿の木の植樹式を行いました。このプロジェクトでは毎年のワークショップの実施など、10年間にわたり継続していくことを計画しています。美術館に植樹された木を皆で育て見守りながら、多くの参加者と平和への思いを共有し育んでいけることを願っています。

\* 時の蘇生・柿の木プロジェクトウェブサイト <https://kakitreeproject.com/>



千葉市美術館